

研究課題名 骨脆弱性を有する腰椎椎体間固定術における CBT 法の有用性

(1) 研究の概要

研究期間： 2021年 10月 1日 ～ 2024年 3月 31日

研究責任者： 川崎幸病院 脳神経外科 成清道久

(2) 研究の対象

上記期間中に CBT 法で腰椎椎体間固定術を行った 16 症例

(3) 研究の目的

不安定性がある脊柱管狭窄症に対する腰椎固定術において前方要素の固定には椎体間ケージが、後方要素の固定には pedicle screw (PS) が用いられ、特に PS 固定は手術手技が比較的簡便かつ強固な固定が実現可能であり第一選択となりやすい。一方で骨脆弱性を有する症例では、時に PS loosening や逸脱が問題となり従来の PS の課題である。当院では、既往歴、骨粗鬆症の有無及び画像所見などから骨脆弱性が強く示唆される症例に対しては従来の PPS に代わり cortical bone trajectory (CBT) 法を選択しているため、その有用性について検討する。

(4) 研究の方法（研究に使用する試料・情報の項目を含む）

2021年10月から2024年3月までに経験した16症例の術前と術後の神経所見や術後画像におけるPSの経時的変化を評価し、当院のCBTを用いて腰椎固定術の成績を後方視的に、診療記録を用いてデータの収集・解析を行い、安全性や治療効果について検討した。

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、個人情報関連法令・通達などを順守し個人情報の保護に努めます。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は、学会発表、学術雑誌などで公表する場合があります。発表内容には個人を識別できる情報は一切公表しません。

(7) お問い合わせ先

この研究は、直接の同意はいただかずにこの掲示によるお知らせをもって同意をいただいたものとして実施されます。この研究への参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取扱い、その他研究に関するご質問は以下のお問い合わせ先へご連絡ください。

社会医療法人財団石心会 川崎幸病院 病院安全管理部 (川崎幸病院 倫理委員会 事務局)
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町 31 番 27
TEL : 044-544-4611 (代表)